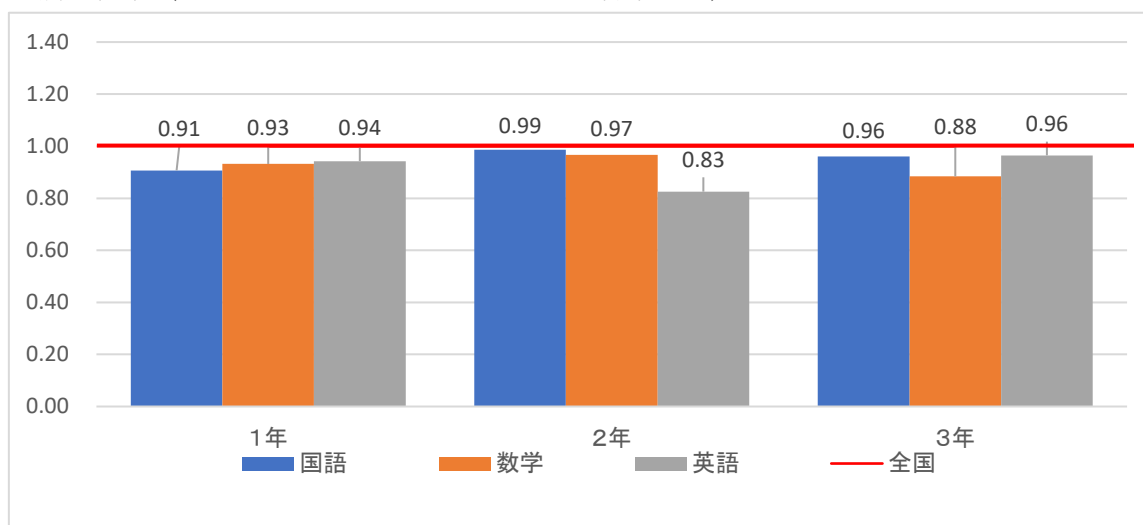


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 中木田中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は寝屋川市学習到達度調査

中学3年生は全国学力・学習状況調査（英語のみ寝屋川市学習到達度調査の結果）

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「読むこと」領域や「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、全国平均を上回る結果であった。今後も、グループ学習やディベート等で、言語活動を大切にした学習活動を推進していく。
	数学	「数と計算」「図形」領域では全国平均を上回り、「文字と式」領域でも全国平均と同等の結果であった。今後も、説明・表現力を高める授業づくりを推進していく。
	英語	「読むこと」領域において全国平均を上回る結果であった。今後は、語彙力を高め、必要な情報を選別し、自分の考えを明確にしたアウトプットの指導を行っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「読むこと」領域や「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、全国平均を上回る結果であった。今後も、内容をとらえ表現する等、言語活動を大切にした授業づくりを推進していく。
	数学	「数と式」「データの活用」領域では全国平均を上回り、「図形」領域でも全国平均と同等の結果であった。今後も、問題文の読解に取り組み、数学的用語を使用して説明する等、様々な問題に自ら取り組む力の育成を図っていく。
	質問紙	「自分にはよいところがあるか」「将来の夢や目標を持っているか」「学校に行くのは楽しい」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」等の質問の肯定的回答が、全国平均を上回っている。生徒の主体性を大切にし、支援体制を推進する中で、自己肯定感やコミュニケーションについての成果が表れている。

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校での合同研修・授業交流と共に全国学力・学習状況調査の結果の共有を行い、「考える力」を身に付け、たくましく生き抜く子の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進している。各教科における小中一貫カリキュラムを踏まえ、小学校から中学校へつながる「家庭学習ノート」の取組や小学6年生の中学校登校日の設定、小6と中3のディベート交流など、小中一貫校として9年間を通した取組を推進している。

【学校】

「自ら学び 共に歩み 未来を拓く子ども」の育成をめざし、ねやがわスタンダードの授業プロセスを大切にし、生徒にとって分かりやすい授業と生涯学び続ける力の育成に向けた取組を推進している。水曜6限目の「きらきら☆スタディー」の設定や「家庭学習ノート」による自主学習の取組を「Grow Up 通信」を発行し保護者へ発信する等、学力向上の取組を推進している。